

子どもは 水俣の宝！



子ども未来会・吉野まこと活動報告

吉野しपोर्ट No.2

090-2182-9879

yyymkto@gmail.com



ホームページ



LINE



ごあいさつ 9月の定例議会を終えて

秋はイベントが盛りだくさんで、私もお手伝いする機会が増えているこの頃です。
6月、9月議会での一般質問を経験して少しずつ質問の流れや効果的な準備方法が見えてきました。
12月議会では、他の議員さんの質問準備を手伝い、3月議会に向けて学びながら準備を進める予定です。
特に注目しているのは、子育て世帯の負担についてです。
市民の間で、この問題に対する実感や認識にズレがあると感じています。共通認識を築くため、
具体的な質問と提案を行っていきます。今後も皆様のご支援とご指導をお願い申し上げます。

令和5年9月定例会について

予算関連	林業施設災害復旧工事(専決) 630万円 ▶7月豪雨災害に伴うもの 省エネ家電製品買換え促進補助金(専決) 1000万円 ▶前回の追加分 保育所・認定こども園物価高騰対策支援金 278万円 キャッシュレスキャンペーン委託料 5187万円 (スマホ決済paypayで利用した場合のポイント還元) など
請願・陳情	加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を求める陳情→→継続審査
条例関係	水俣市学童クラブの設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定 ▶水俣二小の教室の一部を二小ふれあい学童クラブとして新たに利用するため 水俣市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定 ▶空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴うもの
工事契約	生態系に配慮した渚造成整備(護岸その7)工事 契約金額: 1億9679万円 契約の相手方: 坂口・開田特定建設工事共同企業体

活動スケジュールなど

7月

11~13日 明石市・広島市会派視察
14、18、21日 市議会だより編集委員会
26~28日 四万十市・梶原町委員会視察

9月

4日 一般質問通告日
12~14日 一般質問
15日 総務産業委員会予算審査
21日 9月定例会閉会
22日 伊佐市会派視察
25日 出水市会派視察
29日 交通安全見守り

8月

6日 競り舟大会参加
9日 議会運営委員会
17日 子ども議会傍聴
18日 人権教育研究大会参加
24日 議会運営委員会
25日 教育委員会定例会傍聴
議員活動注意点セミナー
26日 SDGs未来フェス参加
29日 医療センター聞き取り
31日 9月定例会開会



明石・中高生
ユーススペース



明石・公園に
設置の個室



高知・図書館の
学習スペース

*7月の視察視察報告はホームページに掲載しておりますので閲覧ください。

一般質問

今定例会で私が取り上げた質問と答弁です。
右のQRコードより私の質問動画が見れますので
ぜひご覧ください。



子供の居場所について

Q.学童クラブの校区ごとの設置状況は

A.一小・二小・袋小に公設学童クラブがある。
また市が業務委託している面接学童クラブは
葛渡小校区に1施設、一小校区に3施設ある。

Q.職員配置の現状は

A.概ね40人以下の支援の単位ごとに2人以上の
配置が必要で、このうち最低1人は支援員が
必要。それ以外は補助員に代えることができる。
現在学童クラブではこの基準を満たしており、
今後も体制を継続できるようにする。

Q.学童クラブ利用者数の総数と待機児童数の 推移と把握はどうか

A.利用者の総数は、令和2年度261人から令和5年度
294人と増加傾向。待機児童数については、令和
元年度24人から5年度は約30人となっている。

Q.今後の待機児童の解消の方策はあるか

A.ハローワークへの求人情報の掲載や市のホーム
ページの活用、自治会長会議で声をかけるなど
広報していく。また、児童が過ごす環境改善の
工事を行っている。支援員の就労関係も改善し、
人員不足の解消につながる効果も期待している。

Q.水俣市内の子どもだけで過ごせる場所は どのような場所があるか

A.図書館、もやい館、総合体育館、ふれあいセンター
オリーブの木、各小中学校の運動場、地域の公園、
エコパーク水俣などがある。

Q.学校のプール開放の状況はどうか

A.夏休み中のプール解放は各学校のPTAが行う。
令和5年度は二小・水東小校区の小学校が開放。
二小は10日間で1日平均2、30人程度。水東小は
9日間で1日平均20人程度、久木野小は午後のみ
10日間で1日平均8人程度の利用があった。

Q.学童クラブがない校区などについて、 どのように考えているか

A.昼間に保護者がいない児童の居場所確保は重要。
学童クラブがない校区もあるため検討したい。

Q.夏休み期間中、子ども達が家庭以外で 過ごせる場所の情報提供が必要と思うが

A.夏休み期間中の子ども達は保護者の責任の下で
生活すべきと捉えている。現在も体験活動など
様々なイベント情報を提供しており、家庭以外で
過ごせる場所の情報提供を行う事は考えていない。



小児医療について

Q.外来患者数状況はどうか

A.外来患者数は、令和4年度の1ヶ月平均658.5人、
5年度は7月までの4カ月で1ヶ月平均835.5人と
増えている状況。これは本年3月末の宮竹小児科
医院の閉院が影響していると考えられる。

Q.発熱で来院した際の受診の流れはどうか

A.まず新型コロナに関する問診と検査を受けて
もらう。陰性であった場合は受診となり、その際
小児科において再度問診等の記入。熱発での受診
は通常より手続きが多くなることがあるが、感染
防止のため理解いただきたい。

Q.受診の受付時間とその診療内容については どうか

A.午前の受付時間が8時から11時までで、一般外来
診療。午後の診療は13時30分から15時まで。
午後は基本的に予約制となっており特殊外来や
予防接種乳幼児健診などに対応している。

これまで3名の小児返しで対応していたが、
本年10月から医師が2名制となる予定。

Q.水俣市内で小児受診できる医療機関はあるか

A.深水医院、山田クリニック、市川内科クリニック
などの医療機関にて受診した場合でも症状などに
より必要があれば当センターに紹介する。

Q.小児科医が3名から2名に減員になるとの ことだが今後どのように対応されるのか

A.水俣市とも連携し、熊本大学と関係機関に医師
の確保について要望等を行う。

Q.混雑緩和の為にもかかりつけ医の周知が 必要と思うが

A.周知は必要であると考えているが、医療機関に
よって対応できる診療内容等が異なるため、
どのような周知ができるか水俣市芦北医師会や
医療機関と相談する。